

受け継がれる伝統と絆



↑川床四公連によるかね踊り（川床地区の若宮神社）



↑蔵之元郷土芸能保存会のかね踊り（同集落十五社神社）



↑塩追集落不知火クラブの手踊り（潟集落若宮神社）

強い日差しの下、踊り手たちは汗だくになりながら、伝統の舞を披露し、観覧に訪れた各集落民から、ねぎらいの意味を込め、あたたかい拍手が送られていました。

下山門野地区の若宮神社では、7地区の郷土芸能保存会らの踊りのほか、阿久根市の

長島町の伝統行事、御八日踊りが8月8日ありました。各神社で神事が執り行われた後、各地区に伝わる、かね踊りや棒踊りなどが披露されました。午前9時、蔵之元郷土芸能保存会によるかね踊りが十五社神社に奉納されるなど、町内の各神社などで、かねや太鼓の音が響き渡りました。

グループによるユーモラスな「田植えハンヤ」の披露もあり、境内には笑い声がこだましていました。毎年、町内最多の会場を巡る鷹巣種子島踊り保存会は、同地区の八幡神社での奉納を皮切りに、特別養護老人ホーム桃源郷など18カ所で勇壮な舞を披露しました。



↑鷹巣種子島踊り保存会の宮路隆太郎君（鷹巣診療所前）